

農の広場

登米市農業委員会だより

第31号

令和2年10月



登米市農業発展のために若手農業者のつながりが必要！

登米4Hクラブ（登米市農村青少年クラブ）

4Hクラブは、専業・兼業農家・法人社員・新規就農者・関連企業従事者・農業に興味がある人など20代から30代の若者たちで構成されています。

定例会ではさまざまな意見を持ち寄っての話し合いや、視察研修を行うことで自らの農業経営の改善法を模索しています。クラブ員の課題を設けたプロジェクト活動を中心に、消費者や子どもたちとの交流、地域ボランティアなどを行っているそうです。

今回は、ポテトチップス用じゃがいもの収穫体験をしているところでした。生産者さんに栽培時の工夫などを熱心に質問していました。

担当：佐藤委員



農地利用状況調査研修会

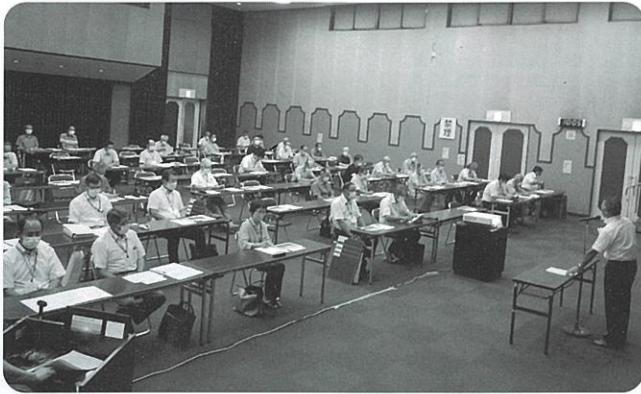
8月12日に中田農村環境改善センターで、農地利用状況調査研修会を開催しました。

今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、第1分科会（迫、豊里、米山、南方）、第2分科会（登米、津山、東和、中田、石越）に分かれて、調査員の方々に委嘱状が交付され、その後研修が行われました。農地利用状況調査は農地利用最適化推進委員が中心になり、農業委員、調査員と協力しながら調査を行います。

調査期間は8月中旬から9月下旬です。特に暑い時期なので熱中症対策、新型コロナウイルス対策、熊やオオスズメバチの対応についてなどの説明を受け、今年の重点調査として、今年の台風19号の影響を受けた農地、農地中間管理機構を通し転貸した農地があげられ「委員会の中で特に重要な調査である」と確認しました。

農地に関する相談は農業委員会へお願いします。

担当：佐々木委員



農地利用状況調査

農地法第30条第1項の規定に基づき農地利用状況調査を実施しました。

遊休農地の発生防止・解消対策や人・農地プランの実質化を進めるうえで基礎となる情報を把握する大切な活動です。

登米市内全域の農地「筆数約119,300筆・面積約18,560ha」が調査対象となります。

今後、調査結果を取りまとめ遊休農地と判断された場合、遊休農地の利用意向調査を農地利用最適化推進委員が中心となり実施しますので、ご協力をお願いします。

農地を転用したい場合、無断で転用するのではなく、事前に農業委員や農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局に相談してください。

担当：浅野委員



農業者年金加入推進会議・研修会

8月28日に中田農村環境改善センターで、令和2年度登米市農業者年金加入推進会議・研修会が開催されました。

農業委員会・みやぎ登米農協・新みやぎ農協で構成された各加入推進員が参加し、宮城県農業会議 高谷忍 氏、宮城県農業協同組合中央会 富士謙治 氏を講師に研修会が行われました。

その中で、特にコロナ禍でこれまでの加入推進より大変かもしれないが、農業者年金を農業者の認識から薄れさせないように進めてほしいと話していました。

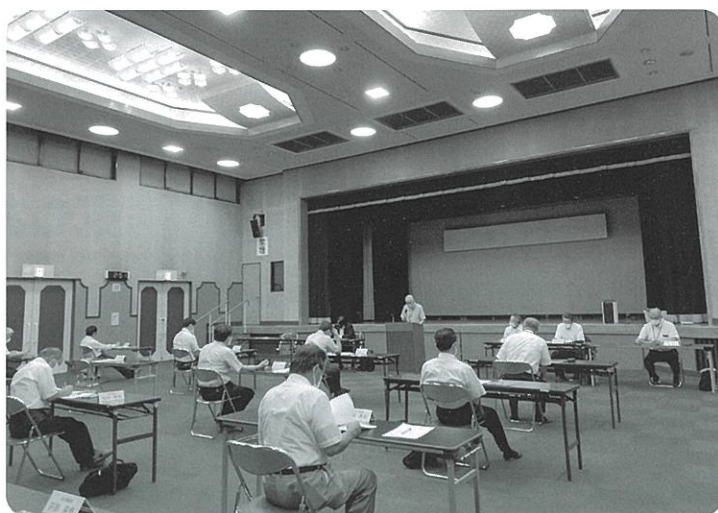
加入者にとって、とても良い制度ですが、保険料納付を考えると加入したいが余裕が出たらと思っている人も多くいると思います。経営状況に合わせて金額が設定できるし、納付が難しい時期はいつでも脱退、再加入ができますので、まず加入を考えてみませんか。

詳細は、農業委員会、みやぎ登米農協、新みやぎ農協へお問い合わせください。

担当：尾張委員

老後生活は、こんなに長い!

65歳の平均余命は…



みなさんからの 質問コーナー

Q：家族経営協定って何ですか？

A：家族で農業を行うことは良い面もたくさんありますが、いろいろなことが曖昧になって様々な不満やストレスが生まれたりもします。

そのため、家族で話し合って経営方針や役割分担、労働報酬や労働時間、休憩時間、休日を決めて農業委員会で協定を結びます。

農業経営の改善につながりますので、ぜひご相談ください。

農業者年金に加入して老後生活を安心サポートしましょう

- 政策支援加入で保険料の国庫補助が受けられます（要件があります）。
- 確定拠出型のため安心な年金制度となっています。
- 保険料は全額が社会保険料控除され節税になります。
- ライフステージに応じて保険料を変更することができます。

農地・農業者年金等に関するご相談は、登米市農業委員会へお問い合わせ下さい。
登米市役所中田庁舎2階 ☎0220-34-2317 メールアドレス noui@city.tome.miyagi.jp

♡ 地域も心も美しく ♡

中田町浅水「巻 亀楽会」の皆さんは、農地まわりの環境美化に取り組んでいます。「きれいな花を見て、地域の皆さんが心穏やかになって日々楽しく過ごしてくれば私たちも頑張ったかがある」と会長の牧野さんが話してくれました。「亀のようにのんびり、楽しく、みんな元気で長生き!!」を合い言葉にこれからもきれいな花を咲かせてください。



担当：鈴木委員

まき きらく
中田町 巻 亀楽会のみなさん

虫も病気もおまかせ!!



さとう えいえつ
石越町 佐藤 栄悦さん

佐藤さんは、年間2,000ha以上をラジコンヘリコプターで航空防除をしているそうです。「操縦して20年にはなる」と言っていました。

ラジコンヘリコプター操縦のほか、家族経営で水稻16ha、大豆11haを作付けしている大規模農家です。「高齢による離農や担い手不足により農業をやめる人が多い時代ですが、農地を守るためにも地域の皆さんと協力しながら、農業と向き合い頑張っていきたいと思えます」と話してくれました。

今後のさらなる活躍を期待します。

担当:菅原委員

購読しませんか



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

週刊 金曜日発行 (原則月4回)
月700円、年8,400円 (消費税込)

申し込み・お問い合わせ先
登米市農業委員会事務局 ☎0220(34)2317
FAX番号 0220(34)2801

編集委員
委員長 岩淵 利光
副委員長 櫻井 和宏
委員 浅野 勝彦
尾張 瑛子
佐藤 浩之
菅原 泰子

今年の夏は、7月に長雨が続き梅雨明けが遅れました。8月に入り梅雨が明けると同時に猛暑が続き、稲作においては高温障害により乳白米等の品質低下が心配される所です。ともあれ、収穫の秋を迎え忙しい日々を送っていることと思います。さて、今年には農業委員会法の改正が行われてから2回目の農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が行われました。「農の広場」を担っている農業委員会だより編集特別委員会の委員も新しくなりました。これから3年間、今まで以上に内容を充実させ市民の皆様から愛される「農の広場」にしていきたくないと考えておりますので、よろしく願いたします。

編集後記